

最近の歯科衛生

歯科口腔介護の知識 (2) - 生活の質の向上のために -

新 井 俊 二

明倫短期大学 歯科衛生士学科

Information on Dental and Oral Care (2) - For Improvement of Quality of Life -

Shunzi Arai

Department of Dental Hygiene and Welfare, Meirin College

要旨

介護担当者は科学的手順で個々の要介護者の抱えた課題を解決するための介護を効果的、効率的に行う必要がある。歯科口腔介護の担当者も同様で、そのための実施の手順は、「MDS-RAPs (CAPs)」の手法を基本としており、それは歯科口腔介護課題分析票 (MDSに該当)、課題分析票記入要綱、歯科口腔介護問題項目選定表、歯科口腔介護の内容 (問題項目検討指針; RAPs (CAPs) に該当)、歯科口腔介護サービス計画表、歯科口腔介護業務記録等の手引き書や定型表 (プロトコール) を用いて一定の順序で行う。

キーワード：実施手順、歯科口腔介護に必要な資料、ケアマネジメント手法

Key words : Process of practice,
Protocol for dental and oral care,
Care management method

表 1. 歯科口腔介護の実施手順

1. 「歯科口腔介護課題分析票 (アセスメント票)」を 「歯科口腔介護課題分析票記入要綱」に従って記入する。	評価
↓	
2. 「歯科口腔介護課題分析票」で得られた情報から、 「歯科口腔介護問題項目選定表」を用い問題項目を選定する。	選定
↓	
3. 「選定された問題項目 (解決すべき課題) のうちから、 「歯科口腔介護の内容 (検討指針)」を参考にして、 必要で効果的な介護内容を決める。	特定
↓	
4. 「歯科口腔介護サービス計画表」に記入し、計画を策定する	策定
↓	
5. 必要とされる歯科口腔介護を実施する。 実施内容を「担当者業務記録」に記録する。	実施
↓	
6. 再評価	再評価

1. はじめに

前報で歯科口腔介護の実施内容について解説した。本報ではその実施手順について述べる。

2. 実施手順

歯科口腔介護の実施手順は一つの流れとして行われ、それをケアマネジメント手法と言い次の順序で行う。

1) まず、歯科口腔介護課題分析票の項目について、要介護者の状態を評価しチェックする。その際、課題分析票記入要綱の基準に従って「評価」する。

2) 次に、課題分析票の項目のうちの誘因項目にチェックされた問題点から「歯科口腔介護問題項目選定表」を用いて問題項目を「選定」する。

3) 選定された問題項目について、歯科口腔介護の内容を参考に、サービス担当者会議 (ケアカンファレンス) で要介護者の解決すべき課題 (ニーズ) を「特定」する。

4) さらに、特定された課題を解決する介護を実施するために介護サービス計画表を「策定」する。

5) 介護サービス計画表に従って介護を「実施」していく。実施内容を担当者の業務記録表に記入する。

効果的に効率よく行うためには、歯科口腔介護の内

容をよく知っておくことが大切である。

6) 業務記録表等を参考にし、定期的(3ヵ月～6ヵ月毎)に「再評価」し、介護内容を改善しながら継続的に実施していく。これらの行為を繰り返すことにより歯科口腔介護の質を高めて行く。(表1)

3. 実施に必要な資料

歯科口腔介護は実施手順に従い、その実施事項を決め、その際使用するプロトコルを順序に従って使用しながら進めていく。

歯科口腔介護に必要な資料を表2に示した。

表2. 歯科口腔介護に必要な資料

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 歯科口腔介護課題分析票 (アセスメント票) | 資料 1 |
| 2. 歯科口腔介護課題分析票記入要綱 | 資料 2 |
| 3. 歯科口腔介護問題項目選定表 | 資料 3 |
| 4. 歯科口腔介護の内容 | 前報を参照 |
| 5. 歯科口腔介護サービス計画表 (ケアプラン表) | 資料 4 |
| 6. 歯科口腔介護サービス担当者の業務記録表 | 資料 5 |

1) 歯科口腔介護課題分析票 (資料1-1～1-4参照)

歯科口腔介護課題分析票とは、要介護者について、歯科領域の問題項目を分析・把握する調査票である。歯科口腔介護の実施内容に合わせて調査項目が取り入れられている。

介護保険制度における要介護者の認定時に使用する介護サービス調査票や、在宅や施設で要介護者の全身、全人的な調査に使用する課題分析票と連携し、そこに記載された、1. 日常生活動作 (ADL) 2. 身体的健康の状況 3. 精神的健康の状況 4. 社会関係 5. 経済状況 6. 住生活環境 7. ケア提供者の状況を、歯科口腔介護課題分析票の記入の際に利用することが望まれる。

他の職種の介護と連携協力して介護全体の質の向上を図る。

資料1-1

歯科口腔介護課題分析票 (アセスメント票)														
I. 概況情報 (記載方法: □、() 内は記載、該当する番号に○印)														
A1 フリガナ		A2 性別		1 男 2 女		ID番号		A5 記載日		整理番号				
A3 生年月日 M T S H 年 月 日 生		A6 場所		1 自宅 2 施設内 3 その他 ()										
A4 自宅住所		A7 同居者		1 配偶者 2 子 3 孫 4 その他 () 5 計 名										
A8 アセスメントの理由		1 新入所 (院)		2 再入所 (院)		3 在宅		4 定時 (6ヶ月)		5 状態の悪化				
B1 介護サービス調査票 (認定アセスメント票) との連携		1 あり 2 なし												
B2 総合的課題分析票との連携		1 あり 2 なし												
B3 施設種別		1 在宅 2 療養介護老人保健施設 3 介護老人保健施設 4 介護療養型医療施設 5 その他 ()												
B4 施設者		B5 開設 S H 年 月												
B6 施設スタッフ (名)		1 医 2 歯科医師 3 歯科助手 4 歯科衛生士 5 介護職員 6 看護職員 7 理学療法士 8 作業療法士 9 その他 () 10 計 名												
B7 入所者数		1 定員 () 名 2 男 () 名 3 女 () 名												
B8 心身状態 (特に歯科に関連する疾病障害に○印)		1. 視覚障害 2. 聴覚障害 3. コミュニケーション障害 4. 脳卒中の後遺症 5. パーキンソン症候群 6. 癡呆 7. 鬱病・神経症 8. 呼吸器系疾患 9. 循環器疾患 (心臓疾患・血液疾患) 10. 糖尿病 (高血糖) 11. 骨粗しょう症 12. 医療器具装着 (① 酸素療法 ② 気管内挿管 ③ 人工呼吸器 ④ 経管栄養 ⑤ 中心静脈置入 ⑥ 尿管留置 ⑦ ペースメーカー) 13. 補足事項 ()												
記載者		記載者所属												
II. 歯科医療調査		(備考) ・歯科不正 (首び) 等												
C. 歯科疾患と対応														
C1 歯科疾患		1) 歯の状態 (う蝕、欠損、歯周病、歯槽膿漏等)												
記入記号		(上顎) (下顎)												
8 7 6 5 4 3 2 1		1 2 3 4 5 6 7 8												
歯全歯 / う蝕 c1-c4 欠損 △		1 歯全歯 2 歯全歯 3 歯全歯 4 歯全歯 5 歯全歯 6 歯全歯 7 歯全歯 8 歯全歯 9 歯全歯 10 歯全歯 11 歯全歯 12 歯全歯 13 歯全歯 14 歯全歯 15 歯全歯												
歯全歯 / う蝕 c1-c4 欠損 △		1 歯全歯 2 歯全歯 3 歯全歯 4 歯全歯 5 歯全歯 6 歯全歯 7 歯全歯 8 歯全歯 9 歯全歯 10 歯全歯 11 歯全歯 12 歯全歯 13 歯全歯 14 歯全歯 15 歯全歯												
歯全歯 / う蝕 c1-c4 欠損 △		1 歯全歯 2 歯全歯 3 歯全歯 4 歯全歯 5 歯全歯 6 歯全歯 7 歯全歯 8 歯全歯 9 歯全歯 10 歯全歯 11 歯全歯 12 歯全歯 13 歯全歯 14 歯全歯 15 歯全歯												
歯全歯 / う蝕 c1-c4 欠損 △		1 歯全歯 2 歯全歯 3 歯全歯 4 歯全歯 5 歯全歯 6 歯全歯 7 歯全歯 8 歯全歯 9 歯全歯 10 歯全歯 11 歯全歯 12 歯全歯 13 歯全歯 14 歯全歯 15 歯全歯												

明徳義塾大学 歯学部歯科学科 課題分析票 No.1

資料1-2

* 記載方法: □は該当する番号を1つ選ぶ □は該当するものを全て選ぶ

C1 歯科疾患		2) 口唇・舌・口腔粘膜の状態 (口唇・舌)		1 口唇 2 舌 3 口腔粘膜 4 全体		0. なし * あり		1 口唇 2 舌 3 口腔粘膜 4 全体		0. なし * あり		1 口唇 2 舌 3 口腔粘膜 4 全体		0. なし * あり		(備考事項)	
C2 対応法		1) 歯科処置		0. 不要 * 必要		1. 希望どおり出来る → 2. 医師許可・3. 家族許可		4. 希望するが出来ない → 理由を補足欄に記入		5. 希望しない → 理由を補足欄に記入						*印は、歯科治療の 計画 (トリガー) 項目である。	
III. 歯科口腔介護基本情報																	
D. 口腔環境の状況																	
D1 口腔清掃		1) うがい動作		0. 力強く出来る * 1. 力弱い * 2. 出来ない												(備考事項)	
D2 歯の状況		2) 食物残渣又は粘着性 (歯垢)		0. ある * 1. 少しある * 2. 大分ある												(備考事項)	
D3 その他		3) 歯垢の付着		0. ない * 1. 歯面1/3の付着 * 2. 歯面2/3の付着 * 3. 歯面全体												(備考事項)	
D4 歯の状況		4) 歯の清掃		0. 出来る * 1. 少し出来る * 2. 出来ない												(備考事項)	
D5 歯の状況		5) 口唇の状況		0. ない * 1. 少しある * 2. 強い												(備考事項)	
D6 歯の状況		6) 口腔清掃のADL (手指の動き)		(1) 左手 0. 出来る * 1. 出来ない (2) 右手 0. 出来る * 2. 出来ない												(備考事項)	
D7 歯の状況		7) 歯の磨き		0. ある * 1. 少しある * 2. ない * 3. 磨ける												(備考事項)	
D8 歯の状況		8) 歯の磨き		0. 有効に使用している * 1. 有効に使用していない * 2. 使用していない												(備考事項)	
D9 歯の状況		9) 歯の安定		0. よい * 1. 少し悪い * 2. 大分悪い												(備考事項)	
D10 歯の状況		10) 歯の咬合		0. ない * 1. 少し咬合 * 2. 大分咬合												(備考事項)	
D11 歯の状況		11) 咬合の状態		0. よい * 1. 少し悪い * 2. 大分悪い * 3. 食物残渣、歯石付着 * 4. 臭いあり												(備考事項)	
D12 歯の状況		12) 歯の磨き		0. 長い (10歳以上) * 1. 少ない (5歳以上) * 2. 殆どない (4歳以下)												(備考事項)	
D13 歯の状況		13) 歯の磨き		0. 上手に出来る * 1. 少し問題 * 2. 大変問題												(備考事項)	
D14 歯の状況		14) 歯の磨き		0. 自立 * 1. 交通機関で外出 * 2. 交通機関で外出 * 3. 交通機関で外出 * 4. 交通機関で外出 * 5. 交通機関で外出 * 6. 交通機関で外出 * 7. 交通機関で外出 * 8. 交通機関で外出 * 9. 交通機関で外出 * 10. 交通機関で外出 * 11. 交通機関で外出 * 12. 交通機関で外出 * 13. 交通機関で外出 * 14. 交通機関で外出 * 15. 交通機関で外出 * 16. 交通機関で外出 * 17. 交通機関で外出 * 18. 交通機関で外出 * 19. 交通機関で外出 * 20. 交通機関で外出 * 21. 交通機関で外出 * 22. 交通機関で外出 * 23. 交通機関で外出 * 24. 交通機関で外出 * 25. 交通機関で外出 * 26. 交通機関で外出 * 27. 交通機関で外出 * 28. 交通機関で外出 * 29. 交通機関で外出 * 30. 交通機関で外出 * 31. 交通機関で外出 * 32. 交通機関で外出 * 33. 交通機関で外出 * 34. 交通機関で外出 * 35. 交通機関で外出 * 36. 交通機関で外出 * 37. 交通機関で外出 * 38. 交通機関で外出 * 39. 交通機関で外出 * 40. 交通機関で外出 * 41. 交通機関で外出 * 42. 交通機関で外出 * 43. 交通機関で外出 * 44. 交通機関で外出 * 45. 交通機関で外出 * 46. 交通機関で外出 * 47. 交通機関で外出 * 48. 交通機関で外出 * 49. 交通機関で外出 * 50. 交通機関で外出 * 51. 交通機関で外出 * 52. 交通機関で外出 * 53. 交通機関で外出 * 54. 交通機関で外出 * 55. 交通機関で外出 * 56. 交通機関で外出 * 57. 交通機関で外出 * 58. 交通機関で外出 * 59. 交通機関で外出 * 60. 交通機関で外出 * 61. 交通機関で外出 * 62. 交通機関で外出 * 63. 交通機関で外出 * 64. 交通機関で外出 * 65. 交通機関で外出 * 66. 交通機関で外出 * 67. 交通機関で外出 * 68. 交通機関で外出 * 69. 交通機関で外出 * 70. 交通機関で外出 * 71. 交通機関で外出 * 72. 交通機関で外出 * 73. 交通機関で外出 * 74. 交通機関で外出 * 75. 交通機関で外出 * 76. 交通機関で外出 * 77. 交通機関で外出 * 78. 交通機関で外出 * 79. 交通機関で外出 * 80. 交通機関で外出 * 81. 交通機関で外出 * 82. 交通機関で外出 * 83. 交通機関で外出 * 84. 交通機関で外出 * 85. 交通機関で外出 * 86. 交通機関で外出 * 87. 交通機関で外出 * 88. 交通機関で外出 * 89. 交通機関で外出 * 90. 交通機関で外出 * 91. 交通機関で外出 * 92. 交通機関で外出 * 93. 交通機関で外出 * 94. 交通機関で外出 * 95. 交通機関で外出 * 96. 交通機関で外出 * 97. 交通機関で外出 * 98. 交通機関で外出 * 99. 交通機関で外出 * 100. 交通機関で外出 * 101. 交通機関で外出 * 102. 交通機関で外出 * 103. 交通機関で外出 * 104. 交通機関で外出 * 105. 交通機関で外出 * 106. 交通機関で外出 * 107. 交通機関で外出 * 108. 交通機関で外出 * 109. 交通機関で外出 * 110. 交通機関で外出 * 111. 交通機関で外出 * 112. 交通機関で外出 * 113. 交通機関で外出 * 114. 交通機関で外出 * 115. 交通機関で外出 * 116. 交通機関で外出 * 117. 交通機関で外出 * 118. 交通機関で外出 * 119. 交通機関で外出 * 120. 交通機関で外出 * 121. 交通機関で外出 * 122. 交通機関で外出 * 123. 交通機関で外出 * 124. 交通機関で外出 * 125. 交通機関で外出 * 126. 交通機関で外出 * 127. 交通機関で外出 * 128. 交通機関で外出 * 129. 交通機関で外出 * 130. 交通機関で外出 * 131. 交通機関で外出 * 132. 交通機関で外出 * 133. 交通機関で外出 * 134. 交通機関で外出 * 135. 交通機関で外出 * 136. 交通機関で外出 * 137. 交通機関で外出 * 138. 交通機関で外出 * 139. 交通機関で外出 * 140. 交通機関で外出 * 141. 交通機関で外出 * 142. 交通機関で外出 * 143. 交通機関で外出 * 144. 交通機関で外出 * 145. 交通機関で外出 * 146. 交通機関で外出 * 147. 交通機関で外出 * 148. 交通機関で外出 * 149. 交通機関で外出 * 150. 交通機関で外出 * 151. 交通機関で外出 * 152. 交通機関で外出 * 153. 交通機関で外出 * 154. 交通機関で外出 * 155. 交通機関で外出 * 156. 交通機関で外出 * 157. 交通機関で外出 * 158. 交通機関で外出 * 159. 交通機関で外出 * 160. 交通機関で外出 * 161. 交通機関で外出 * 162. 交通機関で外出 * 163. 交通機関で外出 * 164. 交通機関で外出 * 165. 交通機関で外出 * 166. 交通機関で外出 * 167. 交通機関で外出 * 168. 交通機関で外出 * 169. 交通機関で外出 * 170. 交通機関で外出 * 171. 交通機関で外出 * 172. 交通機関で外出 * 173. 交通機関で外出 * 174. 交通機関で外出 * 175. 交通機関で外出 * 176. 交通機関で外出 * 177. 交通機関で外出 * 178. 交通機関で外出 * 179. 交通機関で外出 * 180. 交通機関で外出 * 181. 交通機関で外出 * 182. 交通機関で外出 * 183. 交通機関で外出 * 184. 交通機関で外出 * 185. 交通機関で外出 * 186. 交通機関で外出 * 187. 交通機関で外出 * 188. 交通機関で外出 * 189. 交通機関で外出 * 190. 交通機関で外出 * 191. 交通機関で外出 * 192. 交通機関で外出 * 193. 交通機関で外出 * 194. 交通機関で外出 * 195. 交通機関で外出 * 196. 交通機関で外出 * 197. 交通機関で外出 * 198. 交通機関で外出 * 199. 交通機関で外出 * 200. 交通機関で外出 * 201. 交通機関で外出 * 202. 交通機関で外出 * 203. 交通機関で外出 * 204. 交通機関で外出 * 205. 交通機関で外出 * 206. 交通機関で外出 * 207. 交通機関で外出 * 208. 交通機関で外出 * 209. 交通機関で外出 * 210. 交通機関で外出 * 211. 交通機関で外出 * 212. 交通機関で外出 * 213. 交通機関で外出 * 214. 交通機関で外出 * 215. 交通機関で外出 * 216. 交通機関で外出 * 217. 交通機関で外出 * 218. 交通機関で外出 * 219. 交通機関で外出 * 220. 交通機関で外出 * 221. 交通機関で外出 * 222. 交通機関で外出 * 223. 交通機関で外出 * 224. 交通機関で外出 * 225. 交通機関で外出 * 226. 交通機関で外出 * 227. 交通機関で外出 * 228. 交通機関で外出 * 229. 交通機関で外出 * 230. 交通機関で外出 * 231. 交通機関で外出 * 232. 交通機関で外出 * 233. 交通機関で外出 * 234. 交通機関で外出 * 235. 交通機関で外出 * 236. 交通機関で外出 * 237. 交通機関で外出 * 238. 交通機関で外出 * 239. 交通機関で外出 * 240. 交通機関で外出 * 241. 交通機関で外出 * 242. 交通機関で外出 * 243. 交通機関で外出 * 244. 交通機関で外出 * 245. 交通機関で外出 * 246. 交通機関で外出 * 247. 交通機関で外出 * 248. 交通機関で外出 * 249. 交通機関で外出 * 250. 交通機関で外出 * 251. 交通機関で外出 * 252. 交通機関で外出 * 253. 交通機関で外出 * 254. 交通機関で外出 * 255. 交通機関で外出 * 256. 交通機関で外出 * 257. 交通機関で外出 * 258. 交通機関で外出 * 259. 交通機関で外出 * 260. 交通機関で外出 * 261. 交通機関で外出 * 262. 交通機関で外出 * 263. 交通機関で外出 * 264. 交通機関で外出 * 265. 交通機関で外出 * 266. 交通機関で外出 * 267. 交通機関で外出 * 268. 交通機関で外出 * 269. 交通機関で外出 * 270. 交通機関で外出 * 271. 交通機関で外出 * 272. 交通機関で外出 * 273. 交通機関で外出 * 274. 交通機関で外出 * 275. 交通機関で外出 * 276. 交通機関で外出 * 277. 交通機関で外出 * 278. 交通機関で外出 * 279. 交通機関で外出 * 280. 交通機関で外出 * 281. 交通機関で外出 * 282. 交通機関で外出 * 283. 交通機関で外出 * 284. 交通機関で外出 * 285. 交通機関で外出 * 286. 交通機関で外出 * 287. 交通機関で外出 * 288. 交通機関で外出 * 289. 交通機関で外出 * 290. 交通機関で外出 * 291. 交通機関で外出 * 292. 交通機関で外出 * 293. 交通機関で外出 * 294. 交通機関で外出 * 295. 交通機関で外出 * 296. 交通機関で外出 * 297. 交通機関で外出 * 298. 交通機関で外出 * 299. 交通機関で外出 * 300. 交通機関で外出 * 301. 交通機関で外出 * 302. 交通機関で外出 * 303. 交通機関で外出 * 304. 交通機関で外出 * 305. 交通機関で外出 * 306. 交通機関で外出 * 307. 交通機関で外出 * 308. 交通機関で外出 * 309. 交通機関で外出 * 310. 交通機関で外出 * 311. 交通機関で外出 * 312. 交通機関で外出 * 313. 交通機関で外出 * 314. 交通機関で外出 * 315. 交通機関で外出 * 316. 交通機関で外出 * 317. 交通機関で外出 * 318. 交通機関で外出 * 319. 交通機関で外出 * 320. 交通機関で外出 * 321. 交通機関で外出 * 322. 交通機関で外出 * 323. 交通機関で外出 * 324. 交通機関で外出 * 325. 交通機関で外出 * 326. 交通機関で外出 * 327. 交通機関で外出 * 328. 交通機関で外出 * 329. 交通機関で外出 * 330. 交通機関で外出 * 331. 交通機関で外出 * 332. 交通機関で外出 * 333. 交通機関で外出 * 334. 交通機関で外出 * 335. 交通機関で外出 * 336. 交通機関で外出 * 337. 交通機関で外出 * 338. 交通機関で外出 * 339. 交通機関で外出 * 340. 交通機関で外出 * 341. 交通機関で外出 * 342. 交通機関で外出 * 343. 交通機関で外出 * 344. 交通機関で外出 * 345. 交通機関で外出 * 346. 交通機関で外出 * 347. 交通機関で外出 * 348. 交通機関で外出 * 349. 交通機関で外出 * 350. 交通機関で外出 * 351. 交通機関で外出 * 352. 交通機関で外出 * 353. 交通機関で外出 * 354. 交通機関で外出 * 355. 交通機関で外出 * 356. 交通機関で外出 * 357. 交通機関で外出 * 358. 交通機関で外出 * 359. 交通機関で外出 * 360. 交通機関で外出 * 361. 交通機関で外出 * 362. 交通機関で外出 * 363. 交通機関で外出 * 364. 交通機関で外出 * 365. 交通機関で外出 * 366. 交通機関で外出 * 367. 交通機関で外出 * 368. 交通機関で外出 * 369. 交通機関で外出 * 370. 交通機関で外出 * 371. 交通機関で外出 * 372. 交通機関で外出 * 373. 交通機関で外出 * 374. 交通機関で外出 * 375. 交通機関で外出 * 376. 交通機関で外出 * 377. 交通機関で外出 * 378. 交通機関で外出 * 379. 交通機関で外出 * 380. 交通機関で外出 * 381. 交通機関で外出 * 382. 交通機関で外出 * 383. 交通機関で外出 * 384. 交通機関で外出 * 385. 交通機関で外出 * 386. 交通機関で外出 * 387. 交通機関で外出 * 388. 交通機関で外出 * 389. 交通機関で外出 * 390. 交通機関で外出 * 391. 交通機関で外出 * 392. 交通機関で外出 * 393. 交通機関で外出 * 394. 交通機関で外出 * 395. 交通機関で外出 * 396. 交通機関で外出 * 397. 交通機関で外出 * 398. 交通機関で外出 * 399. 交通機関で外出 * 400. 交通機関で外出 * 401. 交通機関で外出 * 402. 交通機関で外出 * 403. 交通機関で外出 * 404. 交通機関で外出 * 405. 交通機関で外出 * 406. 交通機関で外出 * 407. 交通機関で外出 * 408. 交通機関で外出 * 409. 交通機関で外出 * 410. 交通機関で外出 * 411. 交通機関で外出 * 412. 交通機関で外出 * 413. 交通機関で外出 * 414. 交通機関で外出 * 415. 交通機関で外出 * 416. 交通機関で外出 * 417. 交通機関で外出 * 418. 交通機関で外出 * 419. 交通機関で外出 * 420. 交通機関で外出 * 421. 交通機関で外出 * 422. 交通機関で外出 * 423. 交通機関で外出 * 424. 交通機関で外出 * 425. 交通機関で外出 * 426. 交通機関で外出 * 427. 交通機関で外出 * 428. 交通機関で外出 * 429. 交通機関で外出 * 430. 交通機関で外出 * 431. 交通機関で外出 * 432. 交通機関で外出 * 433. 交通機関で外出 * 434. 交通機関で外出 * 435. 交通機関で外出 * 436. 交通機関で外出 * 437. 交通機関で外出 * 438. 交通機関で外出 * 439. 交通機関で外出 * 440. 交通機関で外出 * 441. 交通機関で外出 * 442. 交通機関で外出 * 443. 交通機関で外出 * 444. 交通機関で外出 * 445. 交通機関で外出 * 446. 交通機関で外出 * 447. 交通機関で外出 * 448. 交通機関で外出 * 449. 交通機関で外出 * 450. 交通機関で外出 * 451. 交通機関で外出 * 452. 交通機関で外出 * 453. 交通機関で外出 * 454. 交通機関で外出 * 455. 交通機関で外出 * 456. 交通機関で外出 * 457. 交通機関で外出 * 458. 交通機関で外出 * 459. 交通機関で外出 * 460. 交通機関で外出 * 461. 交通機関で外出 * 462. 交通機関で外出 * 463. 交通機関で外出 * 464. 交通機関で外出 * 465. 交通機関で外出 * 466. 交通機関で外出 * 467. 交通機関で外出 * 468. 交通機関で外出 * 469. 交通機関で外出 * 470. 交通機関で外出 * 471. 交通機関で外出 * 472. 交通機関で外出 * 473. 交通機関で外出 * 474. 交通機関で外出 * 475. 交通機関で外出 * 476. 交通機関で外出 * 477. 交通機関で外出 * 478. 交通機関で外出 * 479. 交通機関で外出 * 480. 交通機関で外出 * 481. 交通機関で外出 * 482. 交通機関で外出 * 483. 交通機関で外出 * 484. 交通機関で外出 * 485. 交通機関で外出 * 486. 交通機関で外出 * 487. 交通機関で外出 * 488. 交通機関で外出 * 489. 交通機関で外出 * 490. 交通機関で外出 * 491. 交通機関で外出 * 492. 交通機関で外出 * 493. 交通機関で外出 * 494. 交通機関で外出 * 495. 交通機関で外出 * 496. 交通機関で外出 * 497. 交通機関で外出 * 498. 交通機関で外出 * 499. 交通機関で外出 * 500. 交通機関で外出 * 501. 交通機関で外出 * 502. 交通機関で外出 * 503. 交通機関で外出 * 504. 交通機関で外出 * 505. 交通機関で外出 * 506. 交通機関で外出 * 507. 交通機関で外出 * 508. 交通機関で外出 * 509. 交通機関で外出 * 510. 交通機関で外出 * 511. 交通機関で外出 * 512. 交通機関で外出 * 513. 交通機関で外出 * 514. 交通機関で外出 * 515. 交通機関で外出 * 516. 交通機関で外出 * 517. 交通機関で外出 * 518. 交通機関で外出 * 519. 交通機関で外出 * 520. 交通機関で外出 * 521. 交通機関で外出 * 522. 交通機関で外出 * 523. 交通機関で外出 * 524. 交通機関で外出 * 525. 交通機関で外出 * 526. 交通機関で外出 * 527. 交通機関で外出 * 528. 交通機関で外出 * 529. 交通機関で外出 * 530. 交通機関で外出 * 531. 交通機関で外出 * 532. 交通機関で外出 * 533. 交通機関で外出 * 534. 交通機関で外出 * 535. 交通機関で外出 * 536. 交通機関で外出 * 537. 交通機関で外出 * 538. 交通機関で外出 * 539. 交通機関で外出 * 540. 交通機関で外出 * 541. 交通機関で外出 * 542. 交通機関で外出 * 543. 交通機関で外出 * 544. 交通機関で外出 * 545. 交通機関で外出 * 546. 交通機関で外出 * 547. 交通機関で外出 * 548. 交通機関で外出 * 549. 交通機関で外出 * 550. 交通機関で外出 * 551. 交通機関で外出 * 552. 交通機関で外出 * 553. 交通機関で外出 * 554. 交通機関で外出 * 555. 交通機関で外出 * 556. 交通機関で外出 * 557. 交通機関で外出 * 558. 交通機関で外出 * 559. 交通機関で外出 * 560. 交通機関で外出 * 561. 交通機関で外出 * 562. 交通機関で外出 * 563. 交通機関で外出 * 564. 交通機関で外出 * 565. 交通機関で外出 * 566. 交通機関で外出 * 567. 交通機関で外出 * 568. 交通機関で外出 * 569. 交通機関で外出 * 570. 交通機関で外出 * 571. 交通機関で外出 * 572. 交通機関で外出 * 573. 交通機関で外出 * 574. 交通機関で外出 * 575. 交通機関で外出 * 576. 交通機関で外出 * 577. 交通機関で外出 * 578. 交通機関で外出 * 579. 交通機関で外出 * 580. 交通機関で外出 * 581. 交通機関で外出 * 582. 交通機関で外出 * 583. 交通機関で外出 * 584. 交通機関で外出 * 585. 交通機関で外出 * 586. 交通機関で外出 * 587. 交通機関で外出 * 588. 交通機関で外出 * 589. 交通機関で外出 * 590. 交通機関で外出 * 591. 交通機関で外出 * 592. 交通機関で外出 * 593. 交通機関で外出 * 594. 交通機関で外出 * 595. 交通機関で外出 * 596. 交通機関で外出 * 597. 交通機関で外出 * 598. 交通機関で外出 * 599. 交通機関で外出 * 600. 交通機関で外出 * 601. 交通機関で外出 * 602. 交通機関で外出 * 603. 交通機関で外出 * 604. 交通機関で外出 * 605. 交通機関で外出 * 606. 交通機関で外出 * 607. 交通機関で外出 * 608. 交通機関で外出 * 609. 交通機関で外出 * 610. 交通機関で外出 * 611. 交通機関で外出 * 612. 交通機関で外出 * 613. 交通機関で外出 * 614. 交通機関で外出 * 615. 交通機関で外出 * 616. 交通機関で外出 * 617. 交通機関で外出 * 618. 交通機関で外出 * 619. 交通機関で外出 * 620. 交通機関で外出 * 621. 交通機関で外出 * 622. 交通機関で外出 * 623. 交通機関で外出 * 624. 交通機関で外出 * 625. 交通機関で外出 * 626. 交通機関で外出 * 627. 交通機関で外出 * 628. 交通機関で外出 * 629. 交通機関で外出 * 630. 交通機関で外出 * 631. 交通機関で外出 * 632. 交通機関で外出 * 633. 交通機関で外出 * 634. 交通機関で外出 * 635. 交通機関で外出 * 636. 交通機関で外出 * 637. 交通機関で外出 * 638. 交通機関で外出 * 639. 交通機関で外出 * 640. 交通機関で外出 * 641. 交通機関で外出 * 642. 交通機関で外出 * 643. 交通機関で外出 * 644. 交通機関で外出 * 645. 交通機関で外出 * 646. 交通機関で外出 * 647. 交通機関で外出 * 648. 交通機関で外出 * 649. 交通機関で外出 * 650. 交通機関で外出 * 651. 交通機関で外出 * 652. 交通機関で外出 * 653. 交通機関で外出 * 654. 交通機関で外出 * 655. 交通機関で外出 * 656. 交通機関で外出 * 657. 交通機関で外出 * 658. 交通機関で外出 * 659. 交通機関で外出 * 660. 交通機関で外出 * 661. 交通機関で外出 * 662. 交通機関で外出 * 663. 交通機関で外出 * 664. 交通機関で外出 * 665. 交通機関で外出 * 666. 交通機関で外出 * 667. 交通機関で外出 * 668. 交通機関で外出 * 669. 交通機関で外出 * 670. 交通機関で外出 * 671. 交通機関で外出 * 672. 交通機関で外出 * 673. 交通機関で外出 * 674. 交通機関で外出 * 675													

資料 1 - 3

E. 歯科領域の機能の状況		(目 数)	1 項目	2 項目	3 項目	(補記事項)		
		(月/日)	1	2	3			
E1 摂食・嚥下機能の状況	1) 摂食時の状態	0. 食卓で自立 *1. 食卓で介助 *2. ベッド上座位で自立 *3. ベッド上座位で介助 *4. ベッド上横臥位で介助						
	2) 栄養・食事の形態	0. 普通食 *流動食等 (1. きざみ食 2. お粥 3. ミキサー食 4. 流動食) *5. 治療食 *6. 経管栄養 *7. 経静脈栄養 *8. 胃瘻挿設						
	3) 咀嚼の回数	0. よく噛む (30回) *2. 少し噛む (5~29回) *3. 殆ど噛まない (5回以下)						
	4) 咀嚼筋運動の動き	0. 普通 *1. 少し悪い *2. 大分悪い						
	5) 食べこぼしの有無	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある						
	6) 食後の有無	0. 普通以上 *1. 少ない *2. 大分少ない						
	7) 便秘の有無 (下痢のある場合は補足欄に記入)	0. ない (毎日) *1. 少しある (1回/3日) *2. 強い (1回/5日以上)				下痢: 有・無		
	8) 嚥下運動 (舌・咽頭筋の動き)	0. ない *1. 少し悪い *2. 大分悪い						
	9) 嚥下 (嚥下) 運動	0. 出来る *1. 少し出来る *2. 出来ない						
	10) 摂食・嚥下時の姿勢	0. よい *1. 少し悪い *2. 大分悪い						
E2 構音機能の状況	11) よく噛んで噛み込む	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある						
	12) 嚥下時の誤込み	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、摂食・嚥下機能の検討の検討項目である。		
	13) 1回毎の食物残留	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある						
	1) 会話の状況	0. 多い *1. 少ない *2. 無口				(補記事項)		
	2) 言葉の状況	0. 明確 *1. 少し不明瞭 *2. 不明瞭						
	3) 会話する機会	0. ある *1. 少ない *2. ない						
	4) 会話時の歯や歯茎の状態	0. 安定 *1. 少し不安定 *2. 大分不安定						
	5) 会話時の舌の動き	0. 普通 *1. 少し悪い *2. 大分悪い				*印は、構音機能の検討の検討項目である。		
	6) 軟口蓋の動き	0. 普通 *1. 少し悪い *2. 大分悪い						
	E3 表情機能の状況	1) 表情の状況	0. 普通 *1. 乏しい *2. 変化が激しい				(補記事項)	
2) 表情の関心		0. 普通 *1. 少ない *2. ない						
3) 顔面神経 (運動) の麻痺、三叉神経 (知覚) の麻痺		0. ない (運動・知覚) *1. 少しある (1. 運動 2. 知覚) *2. 大分ある (3. 運動 4. 知覚)				*印は、表情機能の検討の検討項目である。		
4) 表情を表す機会		0. ある *1. 少ない *2. ない						
5) 1) 口腔粘膜知覚の異常		0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				(補記事項)		
2) 舌粘膜の萎縮		0. ない *1. 少しある (1/3以内) *2. 大分ある (1/3以上)						
3) 味覚の喪失		0. ない *1. 少しある *2. 大分ある						
4) 舌・舌根・舌背・舌根・舌根等の訴え		0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、感覚機能の検討の検討項目である。		
5) 舌の痛み・しびれ・無味・苦味等の訴え		0. ない *1. 少しある *2. 大分ある						
E4 感覚機能の状況		1) 口腔粘膜 (口唇・舌・粘膜) の乾燥	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				(補記事項)	
	2) 薬の服用	0. ない *1. あり *2. 頻回 (補足欄に記入)						
	3) 唾液腺の圧迫	0. 出る *1. 少し出る *2. 出ない						
	4) 食物刺激 (甘味・酸味・香辛料等) による唾液分泌	0. 出る *1. 少し出る *2. 出ない				*印は、分泌機能の検討の検討項目である。		
	E5 分泌機能の状況	1) 口腔環境整備のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				(補記事項)	
		2) 摂食・嚥下機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している					
		3) 構音機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している					
		4) 表情機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				*印は、リハビリテーションの検討の検討項目である。	
		5) 三叉・顔面・舌根・舌下神経活性化のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している					
		F. 歯科領域の形態異常の状況	1) 口唇の形の異常	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				(補記事項)
2) 歯列の異常			0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、歯科領域の形態異常の検討の検討項目である。	
3) 口蓋の形の異常			0. ない *1. 少しある *2. 大分ある					
1) 上下顎の嚙み			0. ない *1. 上顎 (1. 少しある 2. 大分ある) *2. 下顎 (3. 少しある 4. 大分ある)				(補記事項)	
2) 顎の運動異常やずれ			0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、歯科領域の形態異常の検討の検討項目である。	
3) 顎関節の痛みまたは痛み	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある							
F3 顔面形態	1) 顔面の非対称		0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				(補記事項)	
	2) 気になっている		0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、歯科領域の形態異常の検討の検討項目である。	
	3) 顔面の皮膚の異常		0. ない *1. 少しある *2. 大分ある					
	G. リハビリテーションの必要性の有無		1) 口腔環境整備のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				(補記事項)
		2) 摂食・嚥下機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している					
		3) 構音機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している					
		4) 表情機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				*印は、リハビリテーションの検討の検討項目である。	
		5) 三叉・顔面・舌根・舌下神経活性化のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している					
		IV. 特記事項	(歯科口腔介護に必要なことを記載して下さい。)					
			1. 食事動作機能	: 食事をするなどで口まで運ぶ機能は、視覚、聴覚運動、感覚機能、関節運動、呼吸運動の障害と深く関連している。				
2. 機能障害			: 視力、聴力、麻痺等の有無、関節の動く範囲、嚥下、等					
3. 基本的身体動作			: 寝返り、起き上がり、座位保持、立位保持、歩行、移乗等					
4. 日常生活動作			: ADL (尿意、便意、排泄、排便後の後始末、洗身、清潔等)					
5. 手段的日常生活動作	: IADL (居間の掃除、薬の服用、金銭管理、食器の操作等)							
6. 認知、行動	: 意志の伝達、介護者の指示への反応、理解、行動等							
7. 家庭の事情等								
年 月 日	特 記 事 項		記 載 者					

歯科口腔介護課題分析票は、表 3 に示すように大項目と小項目から構成されている。

表 3. 歯科口腔介護課題分析票の構成

- I. 概況情報:
- A. 基本的事項
- B. 介護保険サービス体制との連携
- II. 歯科医療調査:
- C. 歯科疾患と対処
- III. 歯科口腔介護基本情報:
- D. 口腔環境の状況
- D 1. 口腔清掃の状況
- D 2. 義歯と咬合の状況
- D 3. その他の状況
- E. 歯科領域の機能の状況
- E 1. 摂食・嚥下機能の状況
- E 2. 構音機能の状況
- E 3. 表情機能の状況
- E 4. 感覚機能の状況
- E 5. 分泌機能の状況
- F. 歯科領域の形態異常の状況
- F 1. 口腔形態の状況
- F 2. 顎形態の状況
- F 3. 顔面形態の状況
- G. リハビリテーションの必要性の有無
- G 1. 口腔環境整備のリハビリテーション
- G 2. 摂食・嚥下機能のリハビリテーション
- G 3. 構音機能のリハビリテーション
- G 4. 表情機能のリハビリテーション
- G 5. 三叉・顔面・舌咽・舌下神経活性化のリハビリテーション
- IV. 特記事項

資料 1 - 4

F. 歯科領域の形態異常の状況		(目 数)	1 項目	2 項目	3 項目	(補記事項)
		(月/日)	1	2	3	
F1 口唇形態	1) 口唇の形の異常	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				
	2) 歯列の異常	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				
	3) 口蓋の形の異常	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、歯科領域の形態異常の検討の検討項目である。
F2 顎形態	1) 上下顎の嚙み	0. ない *1. 上顎 (1. 少しある 2. 大分ある) *2. 下顎 (3. 少しある 4. 大分ある)				(補記事項)
	2) 顎の運動異常やずれ	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、歯科領域の形態異常の検討の検討項目である。
	3) 顎関節の痛みまたは痛み	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				
F3 顔面形態	1) 顔面の非対称	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				(補記事項)
	2) 気になっている	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				*印は、歯科領域の形態異常の検討の検討項目である。
	3) 顔面の皮膚の異常	0. ない *1. 少しある *2. 大分ある				
G. リハビリテーションの必要性の有無	1) 口腔環境整備のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				(補記事項)
	2) 摂食・嚥下機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				
	3) 構音機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				
	4) 表情機能のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				*印は、リハビリテーションの検討の検討項目である。
	5) 三叉・顔面・舌根・舌下神経活性化のリハビリテーション	0. 必要なし *1. テストの必要あり *2. 実施の必要あり *3. 実施している				
IV. 特記事項 (歯科口腔介護に必要なことを記載して下さい。)						
1. 食事動作機能 : 食事をするなどで口まで運ぶ機能は、視覚、聴覚運動、感覚機能、関節運動、呼吸運動の障害と深く関連している。						
2. 機能障害 : 視力、聴力、麻痺等の有無、関節の動く範囲、嚥下、等						
3. 基本的身体動作 : 寝返り、起き上がり、座位保持、立位保持、歩行、移乗等						
4. 日常生活動作 : ADL (尿意、便意、排泄、排便後の後始末、洗身、清潔等)						
5. 手段的日常生活動作 : IADL (居間の掃除、薬の服用、金銭管理、食器の操作等)						
6. 認知、行動 : 意志の伝達、介護者の指示への反応、理解、行動等						
7. 家庭の事情等						
年 月 日	特 記 事 項	記 載 者				

2) 歯科口腔介護課題分析票記入要綱 (資料 2 - 1 ~ 2 - 6 参照)

この要綱は、歯科口腔介護課題分析票の各項目を評価しチェックする際の評価基準を定めたものである。科学的、客観的な評価をするためにこの基準に従ってチェックする。

記入する前に以下のことに留意する。

- (1) 記入要綱と課題分析票を突き合わせて、その構成と内容を理解する。
- (2) 課題分析票の記入は、各項目ごとに記入要綱を参照する。

資料 2-1

資料 2-3

歯科口腔介護課題分析票（アセスメント票）記入要綱

II. 齒科医療調査

C. 歯科疾患と対処について

C1 歯科疾患の評価

[illegible]

Ⅲ. 齒科口腔介護基本情報

D. 口腔環境（清潔の状況、咬合の状況等）について
D1. 口腔環境の整備

領 Ⅱ 的 口腔機能の喪失感は、高齢者の自立とQOLに直結している。

[illegible]

資料 2-2

資料 2-4

D2 義歯と咬合の評価

[illegible]

D3 その他の評価

價 目 的	ADL、LA
-------	--------

評価項目の定義	<p>口頭発表を準備するに必要となる事項を要する項目である。日常生活自立、身体及び生活基盤の両者を指す。(資料参照)</p> <p>ADLは、主として各様の情報利用や食生活の準備、保持、移動能力の働きにより、食事状態とは、特に食事、着脱状態、寝た状態、食器の取り扱い方、摂取食生活に生活にエネルギーが保持されている状態をいう。</p>			
評価項目	要介護項目	特定基準	要介護項目	特定基準
	1) 寝たままの体位ランク	日常生活で何らかの障害を有する人のランクである。	2) 服装項目	日常生活に必要となるより衣服・行動や意思疎通の困難さが見られる人のランクである。
D3				
そ	① 生活自立		I	(自己)
の	J1	※ 原住生の障害老人の日常生活自立度 (寝たまま)の特定基準に基づく (資料1参照)	※ IIa	要介護: 多少見られる
他	J2		※ IIb	※ 家族外で多少見られる
の	② 車椅子	要介護: いわゆる Haus Round	※ IIb	※ 家族内で多少見られる
状	※ A1		※ IIc	要介護: 時々見られる
況	※ A2		※ IIa	※ 日中に時々見られる
	③ 寝たまま		※ IIb	※ 夜中に時々見られる
	※ B1	要介護: いわゆる Chair Bound	※ IV	※ 横顔に見られる
	※ B2		※ M	※ 専門医療が必要
	※ C1	要介護: いわゆる Bed Bound		
	※ C2			※ 原住生の継続性のある日常生活自立の特定基準に基づく (資料1参照)
	3) 常服状態	衣類: 顔色と体幹と許容する。	(補足事項)	
	よい	衣色が良く、顔に力みがある場合		
	※少し悪い	衣色があまりよくなく、体幹が正常より少し少ない場合		
	※大分悪い	衣色が悪く、体幹が正常より大分少ない場合		

E. 歯科領域の機能について

E1 摂食・嚥下機能の評価

[illegible]

明倫短期大學 齒科衛生士學科 課題分析願記入裏紙No.3

E2 構造機能の評価

評価項目	評価基準	判定基準	評価項目	判定基準
2 評価	1) 全館の状況	定義：廊下に対して、受け応じの程度を評価する。	4) 全館時の音や騒音の状況	定義：音や騒音が廊下に、支障をきたしていないかどうかを評価する。
音 越	多い	廊下にはよく伝わる場合	安定	音や騒音が全館時に、気になる場合
音 越	少ない	廊下にはあまり伝じない場合	●少し不安定	全館時に音や騒音の騒音が、気になる場合
音 越	●音口	廊下には少しだけ伝じない場合	●大不安定	騒音を入れると、全館が伝音する場合
音 越	2) 音口の状況	定義：全館の音、音口が明確であるかどうかを評価する。	5) 全館時の音の音口	定義：音の音口が音口で無いというかどうかを評価する。
音 越	明確	廊下にいる事がはっきり分かる場合	安定	音口が音口をききしめる場合
音 越	●少し不明瞭	廊下にいる事が半分以上分かる場合	●少し不安定	全館時に音の音口が聞き難い場合
音 越	●不明瞭	廊下にいる事が半分以上分からない場合	●大不安定	全館時に音の音口が聞き難い場合
音 越	3) 全館時の状況	定義：全館、人、入居する人数の多少を評価する。	6) 音口の騒音	
音 越	ある	午前、午後、夜間、一日全入居する人数がある場合	安定	「あ」の発声時に、よく聞ける場合
音 越	少ない	一日は、全館を人の騒音がある場合	●少し不安定	「あ」の発声時に騒音が少し強い、または片方まで場合
音 越	少ない	全館の騒音を人の騒音がある場合	●大不安定	「あ」の発声時に騒音が強い場合

E3 表情機能の評価

[illegible]

E4 感覚機能の評価

[illegible]

關倫理學大學 齒科衛生士學科 課程分析要記入要綱No.4

資料 2-5

[illegible]

F. 歯科領域の形態異常の問題

F1 口腔形態の評価

[illegible]

F3 顔面形態の評

評 估 目 的	額正
---------	----

[illegible]

F2 顎形態の評価

低 目 的	整容、顔の
-------	-------

[illegible]

資料 2-6

G. リハビリテーションの必要性の有無

従 務	患者の病状のハザード評価は、変化の有無により(下記)※、症例毎に状況の変化し対応を要する下位種別(誘導・矯正、増進、減退、喪失、発現、移行)の順で、誘導、増進、再評価を行い、健康増進と生活の質向上に役立てる。		
評価項目の共通	口腔機能及び嚥下、嚥下、嚥下機能のハザード評価の内容は多岐に、口腔後介助のADL、LADL及び簡易機能検査の両方を開き、再訓練の必要性を判断。		
評価項目	判定基準	評価項目	判定基準
G1 口腔嚥下機能のハザード評価		G2 嚥下機能のハザード評価	
必要なし	ハザードが出現する場合、或いは効果が認められないと思われる場合	必要なし	ハザードが出現する場合、或いは効果が認められないと思われる場合
*アスの必要がある	(口嚥下機能の評価) の検討の結果である、 不十分であり改善が必要となる場合	*アスの必要がある	(舌圧機能の評価) の検討の結果である、 不十分であり改善が必要となる場合
*実施の必要あり	(口嚥下機能の評価) 項目評価の結果から ハザードの効果が認められたら場合	*実施の必要あり	(舌圧機能の評価) の検討の結果から ハザードの効果が認められたら場合
*実施している	ハザード評価を実施している場合	*実施している	ハザード評価を実施している場合
G2 嚥下・嚥下機能のハザード評価		G3 三叉・顔面・舌咽・舌下神経機能のハザード評価	
必要なし	ハザードが出現する場合、或いは効果が認められないと思われる場合	必要なし	ハザードが出現する場合、或いは効果が認められないと思われる場合
*アスの必要がある	(嚥下・嚥下機能の評価) の検討の結果である、 不十分であり改善が必要となる場合	*アスの必要がある	(E4、感覚、分岐機能の評価) の検討の結果 では、不十分であり改善が必要となる場合
*実施の必要あり	(嚥下・嚥下機能の評価) の検討の結果から ハザードの効果が認められたら場合	*実施の必要あり	(E4、感覚、分岐機能の評価) の検討の結果から ハザードの効果が認められたら場合
*実施している	ハザード評価を実施している場合	*実施している	ハザード評価を実施している場合
G3 嚥下機能のハザード評価		(補足事項)	
必要なし	ハザードが出現する場合、或いは効果が認められないと思われる場合		
*アスの必要がある	(嚥下機能の評価) の検討の結果である、 不十分であり改善が必要となる場合		
*実施の必要あり	(嚥下機能の評価) の検討の結果から ハザードの効果が認められたら場合		
*実施している	ハザード評価を実施している場合		

【参考】 口腔機能の自立度判定基準（BDR指標）（寝たきり者の口腔衛生指導マニュアル作成委員会，1993）

項目	自立	一歩 介助	全 介 助	介護目標
B 飲みがき (Brushing)	a はは自分でみがく 1. 歯磨きを完成する 2. 歯茎を洗拭する	b 部分のみは自分でみがく (完全な方がよい) 1. 歯垢を落とす 2. 歯茎は洗てない	c 自分でみがけない 1. 歯磨き、歯茎をとる 2. 中程度にもたれない	有 無
D 義歯着脱 (Denture wearing)	a 自分で着脱する	b 外すか入るかどちらかはする	c 自分ではまったく難しい	有 無
E うがい (Mouth rinsing)	a フラップうがいをとする	b 水は口に含む程度はする	c 口に水を飲むこともできない	有 無
(H) 箸 ま さ め 切 削 度	a 両手どおりに箸のグリップが 届き自分でみがける	b 両手が届かない一部分があ り、箸の先の動きが半分 に上れない	c 箸の先の動きをとることが できない。箸先を口にと もつてけいけん	有 無
自 発 性	a 自分から進んでみがく	b 促されれば自分でみがく	c 自発的はない	有 無
習 得 性	a 毎日みがく 1. 毎食後 2. 1日1回程度	b とどきみがく 1. 1週1回以上 2. 1週1回以下	cほとんどみがけていない	有 無

3) 齒科口腔介護問題項目選定表 (資料 3 参照)

歯科口腔介護課題分析票でチェックされた誘因項目（課題分析票の中の*印のついた項目）をこの表に載せることにより、問題項目が自動的に選定されるように作られた表である。

この調査結果から、さらに歯科口腔介護の内容で実施が可能であり効果の期待できる項目を選び出す。

4) 歯科口腔介護の内容

前報の歯科口腔介護の内容は、介護の項目を選び出す際の検討指針でもあり、歯科口腔介護サービス計画を策定するカンファレンスの手引き書ともなる。

資料 3

歯 科 口 腔 介 護 問 題 項 目 の 選 定 表												
	各項目の チェック 欄	問 題 項 目									歯科療養の 対症の必要 性	
		8	7	6	5	4	3	2	1	0		
		口腔環境整備の 検討が必要	摂食・嚥下機能の 検討が必要	構音機能の検討が 必要	感覚機能の検討が 必要	分泌機能の検討が 必要	形態異常の検討が 必要	リハビリの検討が 必要				
歯科口腔アセスメント票項目		コ ー ド										
C. 歯科疾患		C2の3にチェックの場合									C	
D. 口腔環境の状況		D1～D3の*にチェックの場合									D1	D
E. 歯科領域の機能の状況		E1～E5を下の欄でチェックする										
E1. 摂食・嚥下機能		E1の*にチェックの場合					E1			E1		
E2. 構音機能		E2の*にチェックの場合					E2			E2		
E3. 表情機能		E3の*にチェックの場合					E3			E3		
E4. 感覚機能		E4の*にチェックの場合						E4				
E5. 分泌機能		E5の*にチェックの場合					E5					
F. 歯科領域の形態異常の状況		F1～F3にチェックの場合					F					
G. リハビリテーションの要否		G1～G5を下の欄でチェックする										
G1. 摂食・嚥下機能リハビリ		G1の*にチェックの場合					G1					
G2. 構音機能リハビリ		G2の*にチェックの場合					G2					
G3. 表情機能リハビリ		G3の*にチェックの場合					G3					
G4. 感覚機能リハビリ		G4の*にチェックの場合					G4					
G5. 分泌機能リハビリ		G5の*にチェックの場合					G5					
①. 問題項目選定表の使用手順												
1) 「歯科口腔介護課題分析表」の項目の中には、問題点のあることを示唆する誘因（トリガー）項目（※印）がある。問題項目選定表は、誘因項目がチェックされた場合に、どの項目に問題や課題があるかを表頭の9の問題項目から選び出す表である。												
2) コードの項の指示に従い、この表のアルファベットに○印で囲み、この上欄の問題項目の事項を担当室連絡会議にかけ、介護の要否、方法を特定していく。												
3) 特定した介護を「歯科口腔介護計画表」に記入し、計画表を策定する。												

明倫短期大學 齒科衛生士學科 滿定表

5) 歯科口腔介護サービス計画表 (資料 4 参照)

担当者連絡会議により、いつ、だれが、なにを、どのようにするかを記入する表である。

6) 歯科口腔介護担当者業務記録表 (資料 5 参照)

介護を実施した者がその内容と結果を記録する業務記録表である。いつ、だれが、なにを、どのようにしたら、どうなったかを記録する。これは再評価の資料となり、次のサービス計画の策定に役立てる。

資料 4

歯科口腔介護サービス計画表

サービス利用者名	フリガナ		生年月日	MTSH 年 月 日生		住所			
要介護認定日	年 月 日		サービス計画作成日	年 月 日		サービス計画作成者名			
長期目標	[本人・家族に望まれる状況と方向性を示す]					所属	連絡先		
歯科口腔介護で解決すべき課題（ニーズ） （～により○○の状態にある、～により○○の可能性がある、～により○○の可能性のある、の形式で記入）	援助目標 短期目標 （長期目標を達成するための具体的、実現可能目標を記入）					サービス内容 介護内容			
1. 歯科疾患対応の問題						担当者	頻度	期間	
2. 口腔環境整備の問題									
3. 摂食・嚥下機能の問題									
4. 嚥下機能の問題									
5. 嚥下機能の問題									
6. 感覚機能の問題									
7. 分泌機能の問題									
8. 歯科領域のリハビリの問題									
9. その他（必要事項）									

明倫短期大学 歯科衛生士学科 サービス計画表

資料 5

歯科口腔介護業務記録（実習内容）

(No.)

施設名	対象者	フリガナ	生	MTS 年 月 日生		性	1 男	2 女
実習日	介護の種類	歯科口腔介護実施内容						
（ ）	バイタルサインチェック 1. 体温なし 2. 脈あり	1. 体温	2. 脈（血圧）	3. 呼吸	4. 顔色	5. 舌鼓	6. 唾液	検印
	1. 口腔環境整備	(どうした)			(どうなった)			
	2. 摂食・嚥下機能							
	3. 嚥下機能							
	4. 嚥下機能							
	5. 感覚機能							
	6. 分泌機能							
	7. 形態異常							
	8. リハビリ							
（ ）	バイタルサインチェック 1. 体温なし 2. 脈あり	1. 体温	2. 脈（血圧）	3. 呼吸	4. 顔色	5. 舌鼓	6. 唾液	検印
	1. 口腔環境整備	(どうした)			(どうなった)			
	2. 摂食・嚥下機能							
	3. 嚥下機能							
	4. 嚥下機能							
	5. 感覚機能							
	6. 分泌機能							
	7. 形態異常							
	8. リハビリ							
（ ）	バイタルサインチェック 1. 体温なし 2. 脈あり	1. 体温	2. 脈（血圧）	3. 呼吸	4. 顔色	5. 舌鼓	6. 唾液	検印
	1. 口腔環境整備	(どうした)			(どうなった)			
	2. 摂食・嚥下機能							
	3. 嚥下機能							
	4. 嚥下機能							
	5. 感覚機能							
	6. 分泌機能							
	7. 形態異常							
	8. リハビリ							
（指導事項）								

明倫短期大学 歯科衛生士学科 業務記録（実習内容）

3. 介護の目標の設定

4. 予測的、予防的介護の提供

5. 継続的介護の提供

6. 提供した介護の評価

7. チーム介護の確立

さらにマズローは人間の基本的欲求として表4に示すように述べている。

表4. マズローの基本的欲求

1. 生理的欲求：快食，快便，快眠
2. 安全性の欲求：転倒等の危険防止
3. 社会的欲求：他人との付き合い，車椅子移動，風呂，清潔
4. 自我の欲求：自立，生きる意欲
5. 自己実現の欲求：その人らしい生活

文 献

- 1) 新井俊二：歯科口腔介護の知識(1)，明倫歯誌 1，45-51，1998
- 2) 厚生省老人保健福祉局監修：高齢者ケアプラン策定方針，厚生科学研究所，東京，1994
- 3) 高齢者総合ケアシステム研究プロジェクト報告書：明日の高齢者のケアをめざして（高齢者ケアプランとケースミックス），高齢者総合ケアシステム，1994
- 4) Morris JN, Hawes C, Murphy K. and None Maker S: Minimum Data Set — Resident Assessment Instrument — Training Manual and Resource Guide, p 659-661, Eliot Press, 1991
- 5) 酒井信明，緒方克也 監修：歯科衛生士のための障害者歯科，医歯薬出版，東京，1996
- 6) 浦沢喜一，新井俊二：高齢者介護に役立つ内科と歯科の知識，一橋出版，東京，1998
- 7) ジョン N. モリス，池上直巳 編：在宅ケアアセスメントマニュアル，厚生科学研究所，東京，1997

4. 留意事項

手順に従い介護を行っていく場合，次のことに留意する。（厚生科学研究所の高齢者ケアプラン策定指針による）

1. 高齢者の個別性の尊重
2. 全人的，総合的評価